

第3次今治市総合計画基本構想 概要

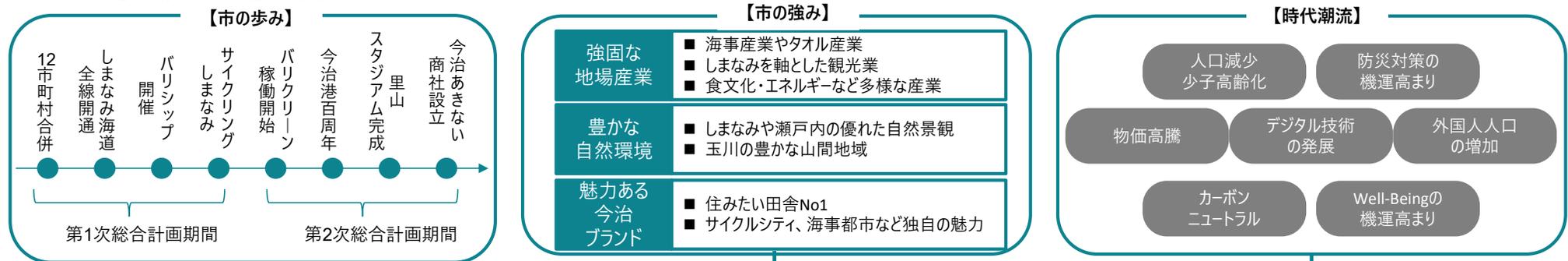
策定コンセプト

- ①市民目線での見やすさ、伝わりやすさ重視
本構想では市の目指す姿がまっすぐ伝わるように。
- ②庁内で活用できる計画へ
施策の単位で責任の所在を明確化し、総合戦略や個別計画との関係も考慮
- ③計画全体で今治らしさを発信
将来都市像に加え、施策単位でも海事、しまなみ、自転車などの今治らしさをアピール

基本構想の章立て

章	内容
はじめに	計画の冒頭に目指すべき将来像のビジュアル資料を提示し、わくわく感を創出。
第1章 総合計画の策定にあたって	計画として最低限必要な、総合計画の目的や計画期間や構成を見開き1ページに集約。冒頭に将来都市像を掲載することで、計画の行政文書感を緩和。
第2章 総合計画策定の背景	今治の強み・弱みや市を取り巻く時代背景を整理。詳細データは資料編に回し、基本構想では大枠の課題感のみ記載。
第3章 今治市の目指す姿	第2章の状況を受け、次の10年で目指すべき将来都市像と、込めた思いを記載。
第4章 施策体系	将来都市像の実現のために市で持つべき視点や目標を記載。

<第2章> 総合計画策定の背景



これまでの取組や今治の強み、取り巻く社会潮流を踏まえ、まちづくりの新たなステージへ

<第3章> 今治市の目指す姿

瀬戸内しまなみから世界へ 夢が行き交うまちIMABARI ~みんなのふるさと、つむぐ未来~

瀬戸内、しまなみのシビックプライドの醸成と、世界に誇れる強みを生み出していき 願い
 「行き交う」で夢を世界に発信する側面と、夢を求めて今治に戻ってくる様子を表現
 世界的な都市を目指す想いと多文化共生、改革・変化のイメージを込めて「今治」ではなく「IMABARI」
 住み続けたい・帰ってきたいふるさとを目指す想いと、次世代を育てていき 願い

<第4章> 施策体系

